



拡張性

手すり先行工法で組立・解体できる支保工システム

仮設工業会システム承認

アルバトロスは支保工も手すり先行工法。

安全な組立・解体、そして支保工内の通行や上下移動もスムーズです。

躯体施工に快適で安心の環境を提供します。

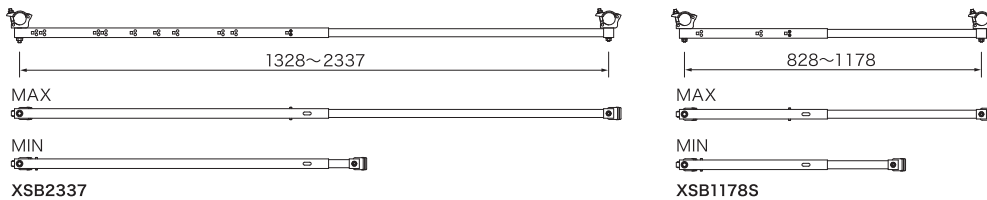
安全と施工性の追求によって生み出された新発想のアルバトロス。従来のくさび式支保工は1支柱あたりの強度のみ優先され、組立・解体時の安全性や昇降通路としての機能がないがしろにされていました。アルバトロスは墜落防止や通行性も考えた手すり先行工法の支保工を提供します。それでも1支柱あたりの許容支持力は23.5kN(約2.4t)、鳥居枠の許容支持力を上回ります。

アルバトロス支保工の最大の特長は足場をそのまま支保工として発展させられることにあります。足場に後付けの斜材や強化方づえを取付けて支保工にすることができ、存置期間が終わったら斜材や補強を外して元の足場へ戻して使用することも可能です。エントランスホールなどでは支保工の一部解体をすることにより、仕上げ用のステージとして隙間や突起のない作業床をつくることも簡単です。

豊富な
選択肢

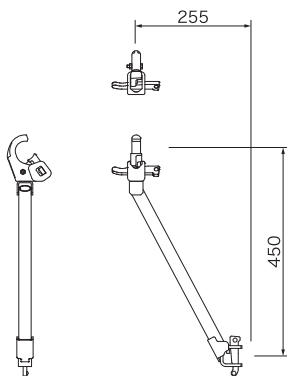
目的用途に応じた先行手すり、伸縮斜材、強化方づえの選択肢。支柱強度はどのパターンも23.5kN(約2.4t)/1支柱

伸縮斜材



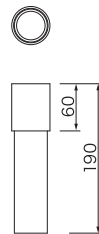
型 式	質量(kg)
XSB2337	5.3
XSB1178S	3.3

強化方づえ



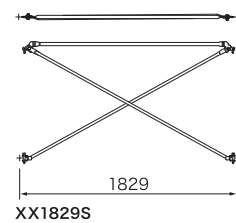
型 式	質量(kg)
XG2545S	1.5

カラー材(調整用)



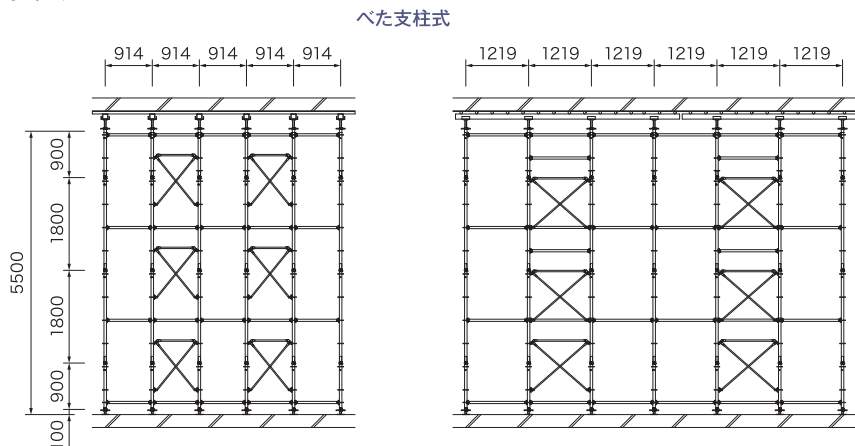
型 式	質量(kg)
XPL60	0.64

先行手すり



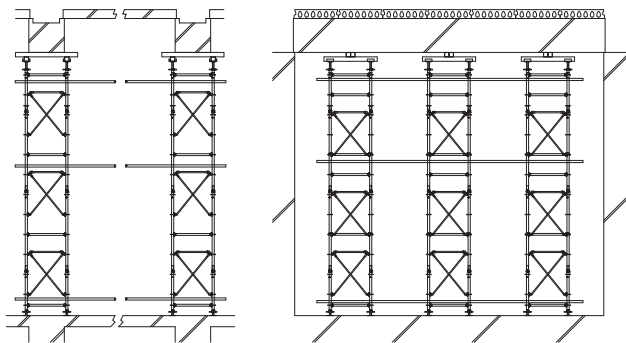
型 式	質量(kg)
XX1829S	6.9
XX1524S	6.0
XX1219S	5.2
XX914S	4.4
XX610S	3.8

X構面、Y構面とも先行手すり

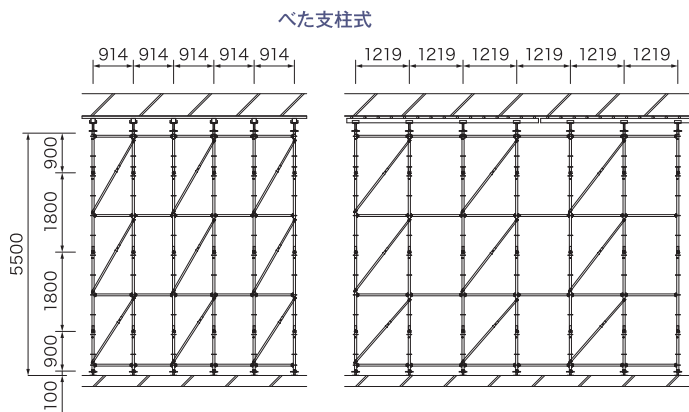


単位:mm

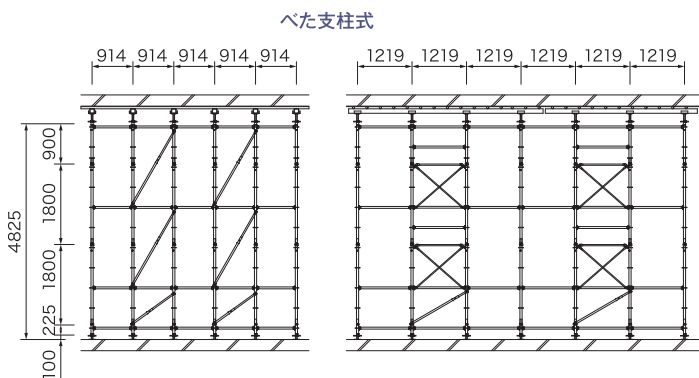
X構面、Y構面とも先行手すり(四角塔式)



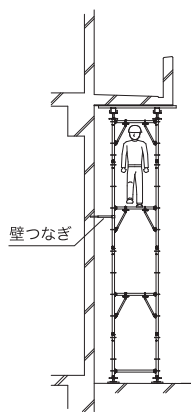
X構面、Y構面とも伸縮斜材



X構面 伸縮斜材 Y構面 先行手すり+伸縮斜材



強化方づえと壁つなぎを用いた支保工※4



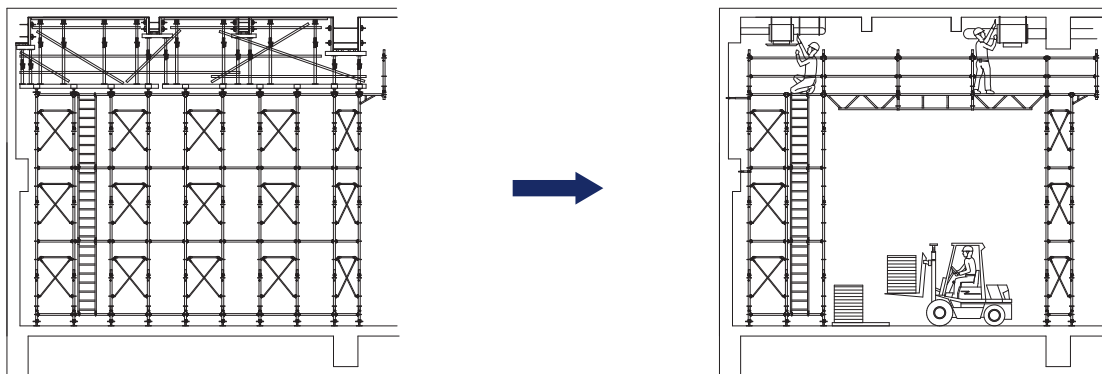
既存足場に後付けで強化方づえを取り付けて簡単にキャンチスラブの支保工にすることができ、通行が容易です。
 存置期間が終わったら強化方づえを取り外し、他の箇所の支保工用に転用ができるため経済的にも優れます。

※4 強化方づえによる支保工には必ず壁つなぎの併用が必要です。壁つなぎは2層以内・全スパンに必要です。

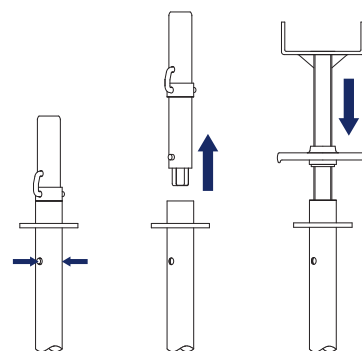
図は支保工としての構造のみを示しています。
 作業を行う場合や通路等には適切な墜落防止設備を設けてください。

豊富な
選択肢

目的用途、そして経済性や施工性に合った選択が可能。建築支保工の幅が広がります。



在来型枠支保工とのコンビネーションにも優れ、支保工として使用した後は設備や天井仕上げの作業ステージとして活用できます。
 外周部の支柱は大引受ジャッキからH900の支柱に挿し替えると、簡単に手すり、中さんが設置できます。また最上層を梁枠に盛り替えることによって、下部に広い通路や大きな有効スペースを確保することが可能となりました。



支柱は連結ピンがワンタッチで取り外しできるため、大引受ジャッキがそのまま装着可能です。

単位:mm